

神奈川県青少年科学体験活動

推進協議会ニュース

第30号

平成22年7月27日発行
事務局

県立青少年センター
科学支援課

☎045-263-4470

もっと「人と科学のふれあい」を

副会長

東芝科学館 館長 三浦 明



もうすぐ夏休みがやってくる。科学実験講座や工作教室を催す当館のイベントホールも、子どもたちでいっぱいになる。科学を体験する彼らの顔つきは真剣そのもの好奇心も旺盛だ。発明クラブに集まる会員も、春先からのアイデアを一気に仕上げる時期。指導員のサポートも受けながら、ひたすら「試作」に励んでいる。いつの時代も、科学の不思議に目を輝かせ、何かを発見したいという意欲に溢れる子どもたちは大勢いる。

「人と科学のふれあい」 東芝科学館が掲げるキャッチフレーズ。青少年を含め幅広い世代に、科学を身近に体験してもらいたい、最新技術を分かり易く伝えたいとの思いが込められている。企業館の立場から、(今で言うところの)科学リテラシー向上に少しでも貢献することをめざしたい。1961年の開館以来続けている活動は、来年50周年目を迎える。



開館の年、国産カラーテレビが登場した。家事の省力化も進んでいた。3年後には東京オリンピック。東海道新幹線も開通した。同じ頃、半導体はIC化が急展開し本格的なエレクトロニクス時代に突入していく。身の回りにある多くの製品技術の革新も一気に進んだ……。1978年、日本語ワープロが誕生。同時に、ゲーム・メディア機器も出現した。1986年には、本格的なノートPCが出始める。やがて携帯電話が普及拡大していく……。この50年、製品技術の変遷もめまぐるしい。館内の展示物も頻繁に入れ替えた。イベントプログラムも、少年工作教室、やさしい先端技術講座、わくわく実験ショーなどさまざまに趣向をこらす。魅力ある活動の場づくりを心がけてきた。これまで約850万人を超える人々に利用して頂いた。



科学や製品技術の進化は、社会や暮らしに大きな影響を及ぼす。そのつながりは、今や不可分である。一方で、科学技術はますます複雑化している。多種多様な先端技術が製品に組み込まれブラックボックス化、簡単には分かりにくくなっている。しかも、急速な展開スピード。科学技術だけでは太刀打ちできない問題も起きている。今、科学や技術は社会とどう関わっているのか。くらしと科学技術の近未来像を、どう描けば良いのだろう。夏休みのイベント準備も忙しくなってきた。企業館の役割を改めて自問しながら、科学とのふれあいの場づくりを、子どもたちに負けず真剣に考えていきたいと思う。

子ども科学探検隊

好奇心いっぱいの隊員たちです！



6月19日(土) Dコース **神奈川工科大学**



ものづくりがとてもおもしろかった。
(小学6年男子)



ふれて、体験して、学ぶという感じが楽しかった
(中学1年女子)



細かい作業で集中力をいっぱい使ったと思う(小学5年女子)

- 大学生になったらロボットを勉強したいと思った
(小学5年男子)
- ソーラーカーのしくみについて学べてよかった
(小学6年女子)
- 陶芸でマグカップ作りをを教えてくれた人の説明がていねいでわかりやすかった(小学5年女子)
- K A I T工房にテレビで見たことのあるロボットがあった事が印象に残った(小学5年男子)



6月26日(土) Bコース **はまぎんこども宇宙科学館**



宇宙や電気の仕組みがよくわかってよかった
(小学6年男子)



工作の「おとぼけライオン」をまた家でも作ってみたいです
(小学5年女子)

- プラネタリウムでは今まで知らなかった星座の名前やブラックホールのことわかってよかった(中学1年男子)
- 今日の探検では「びっくり」と「面白い」のふたつの気持ちが多かった(小学6年女子)



7月3日(土) Cコース

神奈川県環境科学センター



酸性雨についてあまり深く考えていなかったけど、実際に自分で実験してこわさがわかったから酸性雨についてよく考えたいです

(小学5年男子)

自分たち人間がよごした空気は人間がきれいにしなければならないことがわかりました。
蒸気が冷えて雨になることもわかり、いろいろ学べたと思います

(小学6年女子)



- ・無響室に入ったことが、すごく印象に残りました(中学1年男子)



7月21日(水) Bコース

神奈川科学技術アカデミー

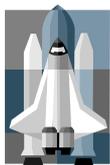


プラスチックは身近な物でも作れると知って楽しかった(小学校5年女子)

顕微鏡の種類について学べました(小学校6年男子)

- ・X線は脱脂綿の中に包んでも入れた物がはっきりわかるのはすごいなと思いました(小学6年男子)
- ・今日はバイオプラスチックを作ってみて、肌触りが悪かったけど楽しかったです(小学5年男子)





7月22日(木) Dコース

相模原市立博物館



金星や春の星が見
れてすごく楽しか
った
(小学5年女子)



はやぶさが人類のために最後の力をふりしぼって
地球に帰ってきてくれたのはすごいと思った

(小学5年男子)

星のことをいろいろ勉強したので、晴れの夜は星を
よく見るようにしたいです(小学6年女子)

もっと星のことやいん石のことを知りたくなった

(小学5年女子)



子どもサイエンスフェスティバル出展団体募集

県央地区大会	22年	12月18日(土)	大和市生涯学習センター
湘南地区大会	23年	1月30日(日)	藤沢市教育文化センター
県北地区大会	23年	2月11日(祝)	相模原市立青少年学習センター
西湘地区大会	23年	2月19日(土)	小田原市生涯学習センターけやき



出展をお待ちしております。詳しくは同封の別紙をご覧ください。